

お客様への メッセージ



CONTENTS

長期投資仲間へのメッセージ vol.60

『セゾン号5周年を迎えて』

セゾン投信株式会社 代表取締役社長 中野晴啓

ゲストからの応援メッセージ

『バンガード＝セゾン投信提携5周年を祝して』

ザ・バンガード・グループ・インク

インターナショナル部門 マネージング・ディレクター ジム M. ノリス氏

セミナー・イベント情報

・「敗者のゲームー金融危機を超えて」を読み解く(東京・池袋)

・セミナーレポート(草食投資隊プラス)

セゾン投信からのお知らせ

・ホームページ改定

・目論見書改訂

お客様データ

・口座数&年代別構成比

・今月の注目数値:「15.3」

セゾン投信の素顔

メンバーが感じる日々の雑感



発行 セゾン投信株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第349号
 加入協会 社団法人投資信託協会
 お問合せ先 セゾン投信お客様窓口
 電話03-3988-8668(受付時間9:00~17:00 土日祝、年末年始を除く)
<http://www.saison-am.co.jp>

■この資料は、セゾン投信の役員ならびに関係者の方々から皆様へ、「メッセージ」の発信を目的として作成したものであり、勧誘を目的とした、セゾン投信の提供する「販売用資料」ではありません。また、金融商品取引法に基づく開示書類でもありません。したがって投資信託の購入、売却、あるいは保有を推奨するものではありません。■情報については、その正確性、信頼性、安全性等について保証するものではありません。過去のパフォーマンスは、将来のパフォーマンスを推測する指標ではありません。■この情報に関する一切の権利、義務は、その情報提供者(以下「情報提供者」)に帰属します。この情報の内容は、情報提供者の事由により変更されることがあります。■この情報は、閲覧者ご自身のみのものであり、転載、または、第三者への提供は禁止します。■このメッセージに掲載された情報に基づく判断については、閲覧者ご自身の責任の下に行うこととし、万一このメッセージの情報により、閲覧者が損失を被ったとしても、セゾン投信株式会社、ならびにその情報提供者はいかなる損害に対しても一切の責任を負うものではありません。■投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書(交付目論見書)を十分読みいただき、内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。



長期投資仲間へのメッセージ Vol.60 「セゾン号 5周年を迎えて」

セゾン投信株式会社
代表取締役社長 中野晴啓

5年を振り返って

セゾン投信はこの3月15日で営業開始から5周年を迎えます。本当におかげさまで、丸5年を経て今や長距離列車「セゾン号」乗客の皆様は5万人に、そして長期投資の純資産残高も500億円へと語呂合わせも良く順調に成長してまいりました。

それにしても、この5年のうち多くの時間が激しく厳しい逆風でした。2007年、順調に出発したのも束の間、その年の夏にはサブプライムショックが起き、金融環境はじわりじわりと悪化を続け、1年後にはリーマン破綻でその後世界が凍りつく金融危機へと大嵐は拡大しました。

その後も私たち日本の投資家にとっては国際分散投資に最も厳しい円高の進行と共に、昨年東日本大震災を経て夏以降は欧州危機に翻弄されて、とまことに苦しく切ない状況を強いられてまいりました。

そんなバッドコンディションが続いた中で、「セゾン号」のお客様は驚くほどコンスタントに増え続け、将来を見据えた本気の長期投資家の皆様が、辛抱強くコツコツと或いはどっしり構えて長期投資に向かい合って下さったことで、2つのファンドはいづれも設定来60ヶ月連続資金流入超という、日本に稀なる本格的資産形成型ファンドへの地歩が築かれつつあります。

投資家と運用者が共鳴し合い、信頼関係で結ばれて初めて可能となるこの資金フローをつくりあげていただいた5万人の皆様に、心より感謝申し上げます。

今こそ原点に！

世界中の投資マネーがリスクを回避し、この先の経済成長を否定するが如き株式市場の割安な放置は、世界主要国がこぞって金融緩和政策に再び舵を切ったこと、即ち実体経済の成長こそ最も重要との意思表示によって、終焉を迎えつつあります。

まずは機関投資家の資金が、実体経済の価値と相場下落により生じた大きなバリュウ（割安）を得るべく、乖離の収斂に向けて動き出しました。世界のマネーの潮目は変わり始めたのです。

永く深く沈みこんだ相場のあとの急反発局面では、いつも多くの「やれやれ売り」が起きます。「やれやれ売り」とは証券業界の俗語ですが、自分の資産取得価格にこだわって、せつかく下落局面を乗り切ってきたのに、市場のリスクオントレンドに気持ちが追い付かず、含み損が消えた処でそそくさと投資から降りてしまうことを言います。

長期投資家は実体経済の成長を見据え、将来に向けてお金を経済に働きに出す、経済活動への参加者です。そして次の世代の豊かな社会に思いを馳せる楽観の意志と、欲望と思惑の渦で覆われた相場上下に翻弄されない強い心構えが、長期投資を続ける支柱です。

私たち長期投資家にとって、市場が実体経済へのキャッチアップに動いている今こそ、自らの行動の原点を思い返し、泰然自若と将来への強固なる意志を示すことが求められているのでしょう。

A I J 事件が示すこと

A I J 投資顧問という運用会社が運用していた年金資金約 2 千億円をほとんど消失させてしまったという大事件が発覚しました。

この会社の運用はヘッジファンドで、中身はブラックボックスだとしてリーマンショックも欧州危機も無傷で高リターンを安定して出し続けていることになっていました。冷静に考えれば明らかにおかしい、実現困難な実績を信じて 94 もの年金基金が虎の子の資金を託していたわけです。

年金基金にとっては大変気の毒なことではありますが、残念ながらそもそも資産運用の観点において、多くの年金基金はアマチュアです。なのでまずは当然運用提供側のモラルにその責を求めるべきでありましょう。同時に年金基金を一律アマチュア投資家に分類し規制しようという動きも出ています。

が、年金基金はプロかアマかという議論で規制するよりも、生活者の大切な将来資金を預かる年金運用の本来の在り方を問い直す機会になって欲しいと思います。生活者が将来を託す年金だからこそ、地道に積み上げて時間を味方に資産を育てて行く、本来の長期投資が最も適しているはずだからです。

将来を創る本物の投資

A I J 事件は見事にイカサマ運用の化けの皮が剥がれたわけですが、必ず儲かるといったムシのいい投資話は継続的には存在し得ません。

投資は不確実なものに資金を投ずるからこそ、その資金が働いて生まれた付加価値からリターンが生まれるのです。これが本来の投資の概念です。

そして私たち長期投資家が行う本物の投資とは、未だ来ぬ未来に向けて、それを将来にわたる社会にすべく、今を生きる者が次世代のために責任を持って用意して行くための行動なのです。

不確実な未来を、将来にわたる将来に変えるために、私たちはお金に思いを込めて経済の中に働き出し、私たちの思いが将来を創る！長期投資とは世代をつなぐ経済活動なのです。

6 年目に入る長距離列車「セゾン号」は、将来に向けて益々元気に進んで参ります！

(12 年 3 月 1 日記)

ゲストからの応援メッセージ

「バンガード＝セゾン投信提携 5 周年を祝して」

ザ・バンガード・グループ・インク
インターナショナル部門 マネージング・ディレクター
ジム M. ノリス氏



私が毎月各国拠点のリーダーから受ける報告の中で、とりわけ楽しみにしているもののひとつが、バンガードジャパンからのものです。それは、セゾン・バンガード・グローバルバランスファンドの新規顧客獲得数と入金実績の報告書です。ですから、昨年未だ近くに同ファンドの残高が 5 億ドルを

超えたときにどれだけ私が興奮を覚えたか、お分かりいただけると思います。確かに、全バンガードの預かり総資産額や日本の資産運用業界の規模からすれば、それはまだほんの5億ドルというに過ぎないかもしれません。しかし、ここで私はひとつの物語をご紹介しますと思います。それは、ごく小さな始まりが大きな結末を迎え得るという物語です。

その物語は1975年に始まります。その年、きわめて革新的な投資信託会社、ザ・バンガード・グループが設立されました。顧客によって所有され、コミッションベースの販売業者からの決別を宣言し、投資家への直販方式を採用した投信会社でした。バンガードは、25億ドル（約2000億円）の運用資産を持って前途洋々の希望に燃えて船出をしました。しかし、その後80ヶ月にわたり、流入資金はマイナスが続いたのです。そうです、80ヶ月連続の資金流出です。将来への希望が少しばかりしぼんでしまったことはご想像いただけるでしょう。従来型の販売業者が誰一人バンガードのファンドを売らないなか、その錐揉み飛行は続き、バンガードの運用資産は、わずか6億ドル（約480億円）のところまでかろうじて踏みとどまりました。

バンガードの歴史における汚点ともいえるその事態の只中であって、劇的な大逆転がついそこまで近づいていたことは、そのとき誰も、さすがのジャック・ボークルでさえ、想像していませんでした。それは静かに始まりました。資金流入のプラスの月が始め、少しずつ増えて来ました。そして、奇妙なことが始まったのです。人々がバンガードのことを話題にするようになったのです。家族に、友人に、それから会社の同僚にも話して聞かせました。メディアが、現実にはあり得ないほどの良い話として取り上げるようになりました。そしてそれが今も続いているのです。小さな火花が起こって、草木に燃え移って、ついには大火柱となって燃え上がったのです。これがバンガードの物語です。そして私は、同じ物語が、この日本でバンガード＝セゾン投信同盟に起こりえないとする理由を見つけることができません。すでに私たちは、小さな火花以上のものを手にしています。そして、どこからどんな風が来てそれを火柱に吹き上げるかも知れません。私たちのパートナーシップは日本の投資家にとって素晴らしいものです。さらに、私たちは、日本の投資家に長期的なメリットをもたらすこのパートナーシップを、これからもずっと育て、発展させていくことを約束しあっています。

※英語の原文は HP でご覧いただけます http://www.saison-am.co.jp/pdf/1203ouen_e.pdf

【執筆者プロフィール】

James M. Norris (ジム M. ノリス)

ザ・バンガード・グループ・インク インターナショナル部門マネージング・ディレクター1987年にバンガード入社以来、会長のアシスタント職ほか、コーポレート部門及びインスティテューショナル部門などにおいて責任ある役職を歴任。現在、米国を除く世界80カ国以上の機関投資家および個人投資家の資産運用サービスを統括している。

バンガード・インベストメンツ・ジャパン株式会社取締役。

セント・ジョセフ大学卒。ペンシルベニア大学ウォートンスクール MBA。

セミナー・イベント情報

当社主催、共催セミナーのスケジュール <セミナーレベル ★:投資未経験者 ★★:初級 ★★★:中級>

【東京】丸の内		草食投資隊セミナー『草快塾』第六回 時代潮流の変化 ～草食投資隊が目指すところは何か～		
★	3月13日(火) 19:00～20:45	レオス・キャピタル ワークス セミナールーム	参加費 無料	渋澤 健氏(コモンズ投信会長) 藤野 英人氏 (レオス・キャピタルワークス取締役 CIO) 中野 晴啓(セゾン投信社長)
今期最後となるこの会は、「時代潮流の変化」～草食投資隊が目指すところは何か～をテーマに開催します！この1年間、みなさまと共に考えたテーマについておさらいをしながら統括していきます。				
【東京】池袋		「敗者のゲームー金融危機を超えて」を読み解く		
★	3月20日(火・祝) 14:00～16:30	あうるすぽっと 3階会議室B	参加費 一般2000円 学生1600円 当日2500円	岡本 和久氏 (I-O ウェルズ・アドバイザーズ株式会社 代表取締役社長) 中野 晴啓(セゾン投信社長)
★	昨秋、来日した米国資産運用の権威、チャールズ・エリス氏の運用哲学の古典中の古典として投資家に読み継がれてきた全米50万部のベストセラー、『敗者のゲーム』をわかり易く読み解くセミナーです。投資教育家として幅広い活動を行っているI-Oウェルズアドバイザー代表取締役岡本和久氏を講師にお迎えし解説いただきます。 ※参加費にテキストである書籍代も含まれます。			
【東京】池袋		「ゼロからはじめる投資のキホン」～投資の初心者さん限定～		
★	3月22日(木) 19:00～20:00	セゾン投信会議室 (サンシャイン60 54F)	参加費 無料	瀬下 哲雄 (セゾン投信運用部ポートフォリオマネージャー)
★	毎回、人気のセミナーです。申し込みはお早めに！投資をはじめる前に知っておきたいポイントを凝縮してお伝えします。少人数でアットホームなセミナーですから、日頃なかなか聞けない基本的なことでも結構です。皆様からの質問にしっかりお応えいたします。			

詳細・お申込みは、ホームページ「セミナー情報」をご覧ください

<http://www.saison-am.co.jp/seminar/seminar.html>

お電話でのお問合せ セゾン投信お客様窓口

03-3988-8668(9:00～17:00 土日祝 年末年始を除く)



講師として参加のセミナー

【金沢】		長期投資フォーラム ～日本経済に頼らない自己資産の作り方～		
3月10日(土) 13:00～17:00	石川県地場産業振興 センター 本館第三研修室	参加費 1,000円	仲木 威雄氏(さわかみ投信取締役副社長) 田口 智隆氏(ファイナンシャルインディペンデンス代表) 石井 達也氏(コチングオフィス two-me-key 代表) 中野 晴啓 (セゾン投信社長)	
【東京】千代田区		長期投資スタートアップセミナー 『自他共楽！草食投資隊をお迎えして本物の投資を語って頂きます！』		
3月22日(木) 18:30～20:30	ちよだプラットフォーム スクウェア 4階会議室 401	参加費 1,000円	渋澤 健氏(コモンズ投信会長) 藤野 英人氏 (レオス・キャピタルワークス取締役 CIO) 中野 晴啓(セゾン投信社長)	

※ 主催者の都合により、開催の延期や見送りを行う場合がございますので、予めご了承ください。

【セミナーレポート】

2012/2/9(木) 草食投資隊プラス 最終回

2月9日(木)19:00よりレオス・キャピタルワークス(ひふみ投信)会議室で『草食投資隊プラス』を開催致しました。

『草食投資隊プラス』は、草食隊の3人が、既存業界に新しい価値を生み出してきた経営者を毎回ゲストにお招きして、事業を通じて社会やお客様に向けたメッセージや思いをお話いただき、ご参加いただいた皆様と自由に意見交換をするセミナーです。

6月より隔月で開催してまいりましたが、最終回は、モーニングスター(株)代表取締役 COO の朝倉智也氏をゲストにお迎えし、朝倉氏が、昨年12月に行わ



れた金融審議会(※)ワーキング・グループにて、発表されたレポート『投資信託に関する現状の課題と対応(<http://goo.gl/rZfMD>)』についてお話をいただきました。

レポート内容は、毎月分配型・通貨選択型の商品ブーム、分配金利回り重視の営業スタイル、委託会社と販売会社の系列がもたらす弊害、年々上昇するコストなど、草食投資隊が日頃からお伝えしている日本の投信業界における課題と一致しています。米国との比較やデータで裏づけされた説明により、お客様の理解がより深まったと思われま

す。終了後、お客様アンケートでは「金融リテラシーの必要性について考えさせられた」「運用会社は独立性をもって、商品開発ではなく運用力を高めてほしい」「無料セミナーとは思えない濃い内容だった。」等のご意見をいただきました。

4月からは、初心者向け「草食投資隊山手線ワンコインゼミナール」を開催予定です。第1回は4/19池袋の予定。詳細は決まり次第お知らせ致します。ぜひご参加ください。

※金融審議会 金融制度の改善などについて、調査・審議を行う組織。金融庁に設置。

セゾン投信からのお知らせ

【買付・解約 受付不可日のお知らせ】(2012年3月5日～5月末日)

下記は2012年3月5日現在の当社取扱いファンドの休日(海外休日等)の情報です。当該海外休日等は日本の営業日の場合でも、信託約款に定める申込不可日としてご注文を受付することができません。当該海外休日等にいただいたご注文は、「翌営業日」を注文日として承ります。

セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド	3月19日(月)、4月6日(金)、4月9日(月)、 5月7日(月)、5月28日(月)
セゾン資産形成の達人ファンド	3月19日(月)、4月6日(金)、4月9日(月)、 5月7日(月)、5月28日(月)

上記は信頼できると思われる資料に基づいて作成されていますが、その正確さや完全さに対する責任を当社が負うものではありません。各地の休業日は都合により変更されることがあり、上記もこれを反映すべく予告なしに変更される場合がありますので予めご了承下さい。

【ホームページ トップページ改定】



2012年2月に当社のトップページを改定しました。
今回の改定ではトップページに掲載するコンテンツをお客様にご覧いただきやすいようにまとめさせていただきました。

口座をお持ちのお客様

- ・インターネット取引のご利用方法
- ・ご登録情報の変更方法
- ・各種変更方法についてのコンテンツ

お客様へのメッセージ

- ・お客様へのメッセージ
- ・連載コラム、動画コンテンツ
- ・社長対談コラム等

【目論見改定のお知らせ】

「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」「セゾン資産形成の達人ファンド」の投資信託説明書(目論見書)が3月12日に改定されます。改定に伴い、**ファンドご購入時には最新の目論見書をご確認いただく必要があります。**下記の方法で最新の目論見書のご確認をお願いいたします。

電子交付のお客様

お客様にてセゾン投信サイトにログイン後、最新の目論見書をご確認ください。

<ログイン後画面>

「口座管理」⇒「電子交付」:電子交付閲覧メニュー ⇒投信目論見書

※目論見書をご覧いただいた履歴が記録されておりませんと、ファンドをご購入いただけませんのでご注意ください。

書面交付のお客様

ご購入時には最新の「交付目論見書」をご確認の上、ご注文ください。

目論見書は、セゾン投信のホームページよりご覧になることができます。

<セゾン投信ホームページ>

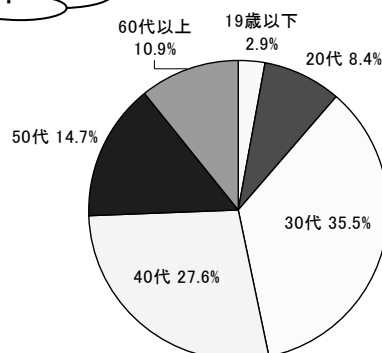
各ファンドの運用状況 ⇒ 投資信託説明書(目論見書)

また、セゾン投信お客様窓口まで、ご請求いただければお送りいたします。

お客さまデータ

5万口座目前!

セゾン投信 会員数49,645口座
(2012年2月29日現在)



※2012年1月末現在

今月の注目数字！ 『15.3』

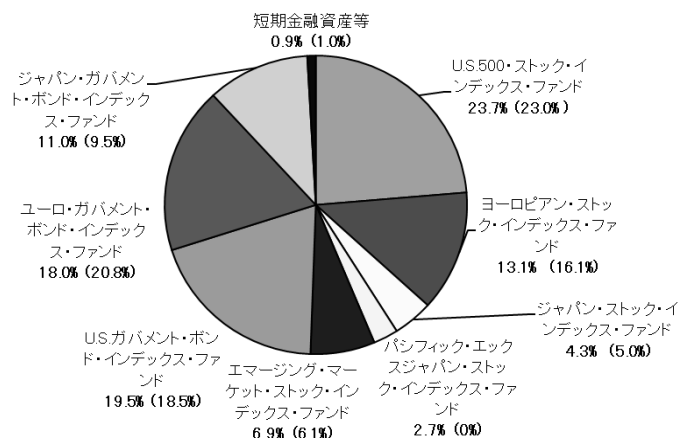
今月の数値は、セゾン・バンガード・グローバルバランスファンドの日本への投資比率 15.3%(債券 11.0%+株式 4.3%)です。

当ファンドは、株と債券を半々に組入れ、それぞれ地域別投資比率は、マーケットサイズ(市場の時価総額等)に合わせてリバランスしていきます。4年前の投資比率(下記円グラフ参照)と比べると、各地域・資産への投資比率に増減が見られます。運用部では、市場の大きさに合わせてこうしたリバランスの作業を日々行っています。月末の投資比率については、毎月運用レポートに掲載しておりますのでぜひご覧になってみて下さい。

※パシフィック・エクスジャパン・ストックインデックス・ファンドへは 2008 年 3 月より投資

※()内の比率は 2008 年 2 月末日の投資比率

資産配分状況(2012年2月29日現在)



セゾン投信の素顔

「自由な市場」

フリードリヒ・ハイエクの「隷属への道」という本を読みました。

社会主義思想が現代よりも多くの支持を得ていた 1944 年に出版された自由の重要性を主張し、社会主義と全体主義の同一性を指摘した古典です。ちなみによく誤解されるようですが、この本は自由放任主義を主張した本ではありません。

そのなかで、社会は人間には理解できない力で動かされているので、人は社会に対して常に謙虚な態度で接するべきという件があったのですが、これは社会を金融市場に置き換えてもそのまま当てはまると思います。

時に過熱することもあるとは思いますが、金融市場に参加する際には、みんなの知力の集合体である市場の動きは、謙虚に受け止めることが大事だと考えて日々仕事に取り組んで行きたいと思えます。

「時間」

年が明けてから時間の使い方を見直しています。趣味の読書や自分のやることリストのために、一日のうちどれだけ時間を割けているのか。実際は思うようにいかず、時間を新たに作ることの難しさを日々実感しています。

よって、まず朝晩の通勤時間を活用することにしました。なんだと思われるかもしれませんが、私の利用している沿線は特別通勤ラッシュで混雑し立っているのも精一杯で本を開けずに降りることがしょっちゅうでした。

しかし、一日に決まって過ごすこの時間を無駄にしてはもったいない。そんな気持ちが重い腰を上げ、早起きしいつもより早めに家を出て各駅停車に乗り換えるなど、小さなことから工夫しています。

一日にすればほんのわずかな時間ですが、一年にすれば惜しいほど貴重な時間であることを胸に刻み、小さな習慣を楽しんでいます。